

日本内部監査協会発行資料の正誤表

当協会発行の下記資料に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

資料名	該当頁	該当箇所	誤	正
品質評価 マニュアル —2024年版 (初版第2刷)	v	原則15	結論のコミュニケーション	結果のコミュニケーション
	5	上から11行目	準拠して実施	適合して実施
	15	上から14行目	特定の基準に準拠する際に	特定の基準に適合する際に
	17	図表4の「各基準への適合性に関する結論」の列上から2個目の枠	完全には準拠していない	完全には適合していない
	38	下から2行目	その主題の構成要素の達成の	それらの構成要素の達成度の
	46	下から2行目	内部監査人が法的及び規制上の要求事項を認識し、それに準拠している	内部監査人が法令及び規制の要求事項を認識し、それに適合している
	48	上から8行目	評価者は、客観性を侵害した事象に対して取られた行動が、内部監査部門の基準に準拠していたことを確認するかを考慮すべきである。	評価者は、開示された客観性の侵害に対する是正措置が、内部監査部門が「グローバル内部監査基準」を遵守していることを確保するものであったかを検討すべきである。
	68	上から3行目	効率的な	効果的な
	84	下から9行目	個々のアシュアランス業務と個々のアドバイザリー業務の日常的な監督、内部の品質のアシュアランス評価、及び内部監査人の専門的能力開発は	個々のアシュアランス業務と個々のアドバイザリー業務、内部の品質のアシュアランス評価、及び内部監査人の専門的能力開発に対する日常的な監督は
	84	下から2行目	内部監査手法に準拠して	内部監査手法に適合して
	97	原則15	結論のコミュニケーション	結果のコミュニケーション
	110	下から12行目	課題、提言、クロージング会議の要約	課題の要約、提言とクロージング会議
	111	下から2行目	外部評価期間中においても	次の外部評価との間の期間においても